

えがお

発行日/2014.7.1 No. 101

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

 <https://www.facebook.com/kama.swc>



たの たな ば た

みんな楽しく七夕の飾りつけ



～木城サロン・鴨生町サロン～

学校に行かなくても

その人の存在価値は変わらない

佐賀市に不登校の子どもたちのフリースペース、「子どもの居場所ハッピービバーク」(以下ハッピービバーク)があります。平成14年に親の会ほとケーキが立ち上げ、子ども達の自主性を重視して誰でも自由に過ごせる事を考えた活動を目指して、現在5人のスタッフで運営されています。

そのスタッフの一人、森田義也さんは、以前、ハッピービバークを利用され、今は、身近な先輩として寄り添い、子どもたちを支えています。

今回のヴォイスでは、森田さんにハッピービバークでの活動やそこで過ごす子どもたちについて伺います。

聞かせて・教えて
あなたの思い

ヴォイス
Voice

No.22



子どもの居場所
ハッピービバーク
スタッフ 森田義也さん

Q. ハッピービバークには、現在何人の方が利用されていて、どんな風に過ごしていますか？

A. 5、6人が利用しています。居場所では、一緒にお昼ご飯を食べたりしゃべりしたり、ゲームをしたり、基本的に自由にゆったり過ごしています。一年の中で夏合宿やクリスマス会などの行事もやっています。

Q. 森田さんは、このハッピービバークでどんな風に過ごしていて、どんなことを感じておられましたか？

A. 最初は、自分にとって良い場所なのか確かめるようにおとなしく過ごしていました。子どもたち、スタッフとの関わりの中、段々と自分を表現していききました。ゆるやかでもあり、刺激的なところもあつたと思います。

Q. 森田さんがスタッフになり、変わったことはありませんか？

A. スタッフになる前から手伝いのことはしていましたが、より運営のことをやるように



お互いを尊重し、認め合う居場所

なりました。大変なこともあるかもしれませんが、基本的には変わらないと思っています。スタッフになっても自分にとって居場所が楽しくあるように過ごします。その気持ちを持って子ども、若者たちと付き合っていきたいです。

Q. 学校に行かない子どもたちは、どんな悩みや思いを抱えていますか？

A. 悩みは人それぞれです。学校に戻りたいと思う人もいます。行きたいと思えないけど行かなきゃという思いもあるでしょう。どうでもいいという子もいるかもしれません。家族の関係が上手くいってない場合もあつたりします。居場所では、悩みを探り解決するということではなく、その子のありのままの状況を認め、安心して過ごすことができればと思っています。そうすることで自分なりに考え、自分なりの道を見つけていくと思えます。居場所ですぐに子どもたちが自分なりに道を見つけ、歩む姿を実際に見てきました。

Q. 最後に、不登校や登校拒否で悩んでいる方へメッセージをお願いします。

A. 学校に行っていないからといって自分が駄目だとか思わなくていい。

ひきこもり勉強会のご案内

今回取材に協力いただいた森田さんを講師に迎え、ひきこもり勉強会「子と親 尊重する関係」を開催します。みなさん、ぜひ、ご参加ください。

- 日時 平成26年7月24日(木) 13時30分~15時
- 場所 稲築住民センター(嘉麻市岩崎1143-3)
- 参加対象者 不登校やひきこもりで悩んでいる本人及びご家族、関心のある方
- 参加費 無料
- 参加申込 嘉麻市社会福祉協議会 0948-42-0751
- E-mail tiiki@kama.syakyo.com

「不登校であっても誰しもが尊い存在」
きつと周りは責めたてることも多いかもしれないけど、認めてくれる、受け入れてくれる人も世の中にはいる。今、力がなくて動けなくても、いづれ自分で考え、動き出すタイミングがある。その時までゆっくりしてもいいだろうし、今できる好きなことがあればそれをやっていけばいい。自分を肯定的に受け止め、過すことが出来たらなら、無駄と思えるような時間も意味があるものに変わる。何かを動かすためでもコントロールするためでもなく言いたい。
「不登校であっても誰しもが尊い存在」
そうでなくても

平成 25年度 主な事業報告・収支決算報告

平成25年度事業報告及び収支決算報告については、5月15日の監査を経て、20日の理事会、27日の評議員会でそれぞれ承認、議決されました。

●地域のつながりを育むための取り組み

◇地域福祉部及び福祉推進員の設置状況

21カ所 27人（稲築地区）

- ・福祉推進員会の開催 6回 延べ出席者数 122人
- ・ブロック別懇談会の開催 5回

視察研修は9人が参加し、中津市社会福祉協議会で「災害に対応できる地域づくり」、上毛町社会福祉協議会で「関係を拒む方へのアプローチ」についてを学びました。



◇ふれあい・いきいきサロンの設置状況 32カ所
（稲築 19 碓井 7 山田 5 嘉穂 1）



各サロンがそれぞれの予定で活動しています。

下臼井西サロンの様子

●子育てを支援するための取り組み

◇子育て中の方等が気軽に集えるおしゃべりサロンを11回開催したほか、子育てグループかまっぴと連携し、子育て情報紙を4回発行しました。



情報紙づくりの講座も開催しました。



◇子育てリユースセンターの運営

- 延べ利用者数 1,047人
- 寄附物品件数 9,040点
- リユース件数 6,686点

本年4月からは、山田ふれあいハウスで運営しています。

●ボランティア活動や市民活動を広げていくための取り組み

◇ボランティア・市民活動センターの運営

- ・活動申込み件 24件
- ・活動依頼件数 3件
- ・備品貸出件数 2件

◇ボランティアに関する学習機会の提供

- ・学生を対象としたボランティア入門講座 参加 10人
- ・点訳サークルと連携した点訳ボランティア講座 参加 4人



福岡県立稲築志耕館高等学校のボランティア学習の支援を行い、234人の生徒が活動に参加しました。



▶▶▶ 法人運営部門

●法人の運営に必要な承認・議決

- ・会長・副会長会議の開催 7回
- ・理事会の開催 4回
- ・評議員会の開催 3回



●法人運営及び経営のチェック

- ・内部監査の実施 1回
- ・外部監査の実施 13回

●利用者等からの苦情の解決と事業改善

- ・福祉サービスの利用に関する第三者委員会の開催 1回

▶▶▶ 地域福祉活動推進部門

●市民の権利が擁護できる体制の整備

嘉麻市からの委託を受け、第一期市民後見人養成講座を開講しました。12日間で26コマを学び、26人が受講を修了しました。



このうち5名の方が面接試験を経て、本年4月から支援員として活動しています。

●災害時に機動的に動ける態勢づくり

昨年8月と9月には、島根県、山口県において甚大な水害が発生しました。そこで本会は、山口県萩市、島根県津和野町、浜田市の災害ボランティアセンターを支援するため、延べ33日、25人の職員が支援に入りました。



8月28日(水)には、ボランティアバスを仕立てて、34人のボランティアとともに、現地で災害支援活動を行いました。

●今日的課題へチャレンジするための調査・研究

ひきこもりの状態にあるご本人及びそのご家族を支援するため、家族の集いを9回開催したほか、ひきこもり経験のある当事者等を講師に招いて、勉強会も3回開催しました。



●障がい児・者の方々を支援するための取り組み

◇障がい児日中一時支援事業（嘉麻北・嘉麻南事業所）

- ・利用登録者 33人
- 延べ利用回数 2,400回
- ・音楽療法の実施
- 各事業所で6回
- 延べ参加者数 79人



夏の交流会では、卒生も一緒に楽しみました。

受託事業管理運営部門

●受託事業の推進

◇配食サービス事業

利用者数 1,577人 配食数 30,857食
 一日平均配食数 84.5食 朝食延べ提供数 1,471食



365日、お弁当を届けました

◇高齢者生きがい活動支援通所事業

・月平均開所日数 20.0日 月平均利用者数 75.7人
 月平均延べ利用者数254.8人 一日平均利用者数 12.7人
 ・季節に応じた行事の開催 9回 延べ参加者数519人

◇生活管理指導員派遣事業

嘉麻北 月平均利用者数 1.7人
 嘉麻南 月平均利用者数 2.7人

福祉施設等管理・経営部門

●指定管理施設の管理・経営

◇碓井千歳会館 開所日数239日 延べ利用者数608人

焼物室 利用日数 34日 延べ利用者数 287人
 染物室 利用日数 11日 延べ利用者数 32人
 陶芸教室の開催 2回 延べ参加者数 19人
 染物教室の開催 1回 参加者数 10人
 フリーマーケットの開催 来場者 243人 出店 9店

◇山田ふれあいハウス

開所日数 354日
 延べ利用者数 9,378人



ふれあいハウス
 クリスマスコンサート

平成 25 年度一般会計収支決算

《経常活動による収支》

(単位:円)

| | | |
|------------|-------------|-------------|
| 収 入 | 会費収入 | 1,653,000 |
| | 寄附金収入 | 4,450,468 |
| | 補助事業等収入 | 7,049,669 |
| | 経常経費補助金収入 | 41,446,000 |
| | 助成金収入 | 1,537,490 |
| | 受託金収入 | 21,349,316 |
| | 事業収入 | 23,342,173 |
| | 共同募金配分金収入 | 6,175,100 |
| | 介護保険収入 | 79,412,333 |
| | 自立支援費等収入 | 10,757,410 |
| | 雑収入 | 551,211 |
| | 受取利息配当金収入 | 178,173 |
| 経理区分間繰入金収入 | 46,266,842 | |
| 経常活動収入計 | 244,169,185 | |
| 支 出 | 人件費支出 | 156,037,154 |
| | 事務費支出 | 6,757,000 |
| | 事業費支出 | 40,958,133 |
| | 助成金支出 | 1,913,640 |
| | 負担金支出 | 491,000 |
| | 経理区分間繰入金支出 | 46,266,842 |
| 経常活動支出計 | 252,423,769 | |
| 経常活動収支 | △8,254,584 | |

《施設整備等による収支》

| | | |
|----------|-----------------|------------|
| 収 入 | 固定資産売却収入 | 97,555 |
| 施設整備等収入計 | | 97,555 |
| 支 出 | 固定資産取得支出及び繰入金支出 | 2,292,210 |
| 施設整備等支出計 | | 2,292,210 |
| 施設整備等収支 | | △2,194,655 |

《財務活動による収支》

| | | | | | |
|---------|----------|------------|---------------|----------------|-------------|
| 収 入 | その他の収入 | 0 | 予備費 | | 0 |
| | 財務活動収入計 | 0 | | 当期資金 収支差額合計 | △14,643,063 |
| 支 出 | 積立預金積立支出 | 77,584 | 前期末 支払資金残高 | 149,826,312 | |
| | その他の支出 | 4,116,240 | 当期末 支払資金残高 | 135,183,249 | |
| 財務活動支出計 | | 4,193,824 | | | |
| 財務活動収支 | | △4,193,824 | | | |

紙面の構成上、大項目のみ掲載しています。詳細についてはホームページをご覧ください。 <http://kama.syakyo.com>

●その他の事業

◇会員を増やしていくための取り組み 会員数 1,420 件

・事業パンフレットやカレンダーをつうじた会員の拡充

◇福祉情報の収集・発信

・広報紙えがおの発行 回数 12回 全戸配布
 ・福祉施設等広報担当広報紙づくり講座の開催
 ・ホームページの運用 アクセス件数4,219件 更新回数 494回

◇いろいろな困りごとの相談に応じるために

・法律相談事業 相談件数 61件
 ・心配ごと相談事業 相談件数 29件
 ・一般相談 相談件数 368件



◇低所得等の方々に資金を貸し付け、自立を支援するために

・生活福祉資金貸付事業
 相談件数98件 貸付件数16件 (緊急小口資金 3件・福祉費 1件・教育支援費 3件・就学支度費 9件)

◇地域での生活を支援するための取り組み

・地域支えあい事業の推進 サービス提供回数58回
 利用会員 166人 協力会員 44人
 ・日常生活自立支援事業
 相談件数 8件 利用者数 12人
 ・地域福祉権利擁護事業
 相談件数 6件 利用者数 5人



◇地域の安全と環境保全につなげる取り組み

・空き家管理住まいるサービスの推進 管理家屋 5軒

◇高齢者の方々を支援するための取り組み

・紙おむつ宅配事業の実施 利用者数 152人
 ・福祉機器貸出事業の実施 貸出件数 37件
 ・在宅介護者の集いの開催 12回



◇共同募金に協力するために

・街頭募金、戸別募金、職域募金、法人募金等への協力



◇アルミ缶回収事業の実施 総量 4,190 kg

◇弔電子郵便送付事業の実施 6件送付

◇初盆世帯への供物の配布 265件 など



在宅福祉推進部門

●介護保険事業の推進

◇居宅介護支援事業

・居宅介護支援事業の実施 月平均利用者数 100.5人
 ・介護予防居宅介護支援事業の実施 月平均利用者数 23.6人
 ・要介護認定調査業務の受託 5件

◇訪問介護事業

・訪問介護事業の実施
 嘉麻北 月平均利用者数 27.2人 嘉麻南 月平均利用者数 23.5人
 ・介護予防訪問介護事業の実施
 嘉麻北 月平均利用者数 20.9人 嘉麻南 月平均利用者数 54.5人
 ・認知症サポーター養成講座の実施 参加者数 31人

◇認知症対応型共同生活介護事業

(グループホームよかこの家) 月平均利用者数 4.6人

●障害者自立支援事業の推進

◇障がい者居宅介護事業

嘉麻北 月平均利用者数 5.6人
 嘉麻南 月平均利用者数 9.0人

◇障がい者同行援護事業

嘉麻北 月平均利用者数 1.0人
 嘉麻南 月平均利用者数 3.0人

◇障がい者移動支援事業

嘉麻北 月平均利用者数 0.9人



地域の役に立ちたい

嘉穂総合高校大隈城山校ボランティア部

今年、これまでの活動に加え、まもなく迎える夏休みには、地域の子どもの遊びの支援など、様々な活動に参加する予定だそうです。部長の今住拓海（いますみたくみ）さんにこれからの目標を伺うと、「まずは、依頼のあった活動に積極的に参加して、コツコツとやっていきたい」と、少し照れながら

大隈町にある嘉穂総合高校大隈城山校では、数年前から全校生徒でボランティア活動に積極的に取り組んでおり、特色の一つとなっています。昨年、生徒からの「地域の役に立つ『お助け隊』のようなものを作りたい」という提案がきっかけとなり、ボランティア部が発足しました。部員の皆さんは、遠賀川源流の森づくりの活動や一夜城などのイベントに参加し、地域の方との関わりを深めてきました。



そうめん流しで子どもたちと交流を深める
ボランティア部の皆さん

顧問の橋本和朗先生によくと、活動を通して地域の方たちと関わる中で、コミュニケーションがあまり得意でない生徒さんが少しずつ克服している姿が見られるなど、たくさんの方を学んで、成長する機会になっっているそうです。橋本先生は、「活動に参加することで、地元への愛着を育て、卒業したあとも地域の活動に積極的に関わってくれば嬉しいですね」と期待を寄せていました。

ボランティア募集情報

障がいのある子どもたちへの支援

障がい者支援施設
つばさ学園

- 期 間** 平成 26 年 7 月 19 日（土）～ 8 月 31 日（日）※ 8 月 12 日～ 15 日を除く
- 時 間** 午前 10 時から午後 3 時 30 分 ※ 上記日程で可能な日で結構です。
- 場 所** 障がい者支援施設 つばさ学園（嘉麻市下臼井 1012-3）
- 活動内容** 放課後等デイサービス「みらい」の子どもたちの遊び相手、外出のサポート
- 募集人数** 定員なし
- 備 考** 昼食は施設側で準備します。また、動きやすい服装と室内履きの準備をお願いします。

夏祭りの補助

①日 時

②募集人数

③応募締切

軽費老人ホーム稲穂園 敷地内（嘉麻市山野 2373-116）

- ① 平成 26 年 8 月 8 日（金）午後 6 時～午後 9 時
- ② 6 名程度（高校生以上）
- ③ 平成 26 年 8 月 5 日（火）

特別養護老人ホーム ひまわり園 敷地内

介護老人保健施設 ほ乃ほ乃園（嘉麻市馬見 64-2）

- ① 平成 26 年 8 月 23 日（土）午後 5 時半～午後 8 時 30 分
- ② 10 名程度（高校生以上）
- ③ 平成 26 年 8 月 9 日（土）

障がい福祉サービス事業所

誠心園 敷地内（嘉麻市平 54）

- ① 平成 26 年 8 月 9 日（土）午後 4 時～午後 8 時
- ② 3 名程度（専門学校、短大、大学生以上）
- ③ 平成 26 年 7 月 31 日（木）

通所介護 うすいの里（嘉麻市下臼井 1055）

- ① 平成 26 年 8 月 9 日（土）午後 2 時～午後 5 時
- ② 10 名程度（高校生以上）
- ③ 平成 26 年 8 月 5 日（火）

今月の一冊

ケアメンを生きる 男性介護者100万人へのエール

著者／津止 正敏
出版社／クリエイティブかもがわ



今も介護者の多くを女性が占めているということに変わりはありませんが、その割合が変化してきているのも事実で、著者は「男女共同参画の視点から見れば、介護の役割を担う男性が増えることは喜ばしいことだが、歓迎されるような実態にはない」と現状を訴えます。

例えば、家事の問題、地域住民との関係性の問題、さらには、家族の中で弱音を吐けず、孤立に向かう傾向が強かったり、介護離職によって、経済的な基盤が揺らぎ、将来への希望を失う人も少なくないといえます。

本の中では、突然介護に直面しても離職しなくて良い働き方、家計の困窮をもたらさない働き方(介護退職ゼロ作戦)や介護という視点からのワークライフバランスの見直しなど、介護を続けていくための社会のシステム作りの必要性について具体的に述べられています。男女が共に介護を担う時代に必要な取り組みについて考えていくきっかけを与えてくれた一冊です。

著者が事務局長を務める男性介護者支援者の全国ネットワークは、「ケアを組み込んだ暮らしは、実は人生を豊かにできるものではないか」と主張しています。そして、家族のケアを包み込んだ暮らし方、働き方をもっとポジティブに打ち出したいという思いを込め、「ケアメン」という言葉を発信しています。

2010年の国民生活基礎調査によると、子の配偶者が主に介護を担っている割合は1968年の調査時と比較して49.8%から16%と大きく減少しています。そしてそれに代わって夫や息子が担う割合が大きくなってきており、2010年には3分の1が男性で、その数は120万人に達しています。

No. 88

炭鉱の記憶

中箆に住む田中巖さんいわおは、お兄さんと共に、三井山野炭漆生抗で、採炭を終えた坑道の柵の撤去などを行う危険な作業に従事していました。

しかし、田中さんは、より危険性が高く、給料が良い、堅坑内での作業を希望し、昭和40年6月から作業をすることになりました。その初日の6月1日、巖さん兄弟は、一番方として朝早くから出勤し、事務所までキャブランプを受け取って、坑内へ下るための準備をしていました。しかし、係員から漆生抗の人手が足りないので戻るようにという指示があり、急速漆生抗へと向かったそうです。

下の予定だった堅坑内で、ガス爆発が発生したのは、それから数時間後のことでした。田中さんは、「漆生抗の坑内での作業を終えて、上がってきたもどんな事故が起こっているのか、情報が混乱していた」と当時の状況を語ります。

その事故が起きた翌日、係員から指示を受け、坑内に溜まり始めた地下水をパイプで排出する作業を担うことになりました。地下水が坑内に溜まること、遺体を運び出すことさえ困難になることからとても重要な作業でした。まだガスが溜まっていて、いつ再び爆発するかかわからないという怖さを感じ

じながら坑内を進んでいくと、座ったまま眠るように亡くなられている方をたくさん目にしました。遺体の横を通る時に、横に寝せながら奥へと進んでいったそうで、その時の光景は「忘れたくても忘れられない」と言います。

田中さんは、「自分のように運良く免れた者もおれば、犠牲になった人もたくさんいる。本当に生死が紙一重なのだと思つた。」と当時を振り返ります。これまで何度か、講演会でこのような体験を話してほしいといった依頼はあったそうですが、「あの時の光景を思い出すのは辛い」と断り続けてきました。

しかし、事故から50年となった平成26年6月1日、町制40周年記念公園にある慰霊碑の前で、命を落としていった同僚たちに手を合わせ、この事故のこと、炭鉱のことを伝え、残していきたいという思いを新たにされたそうです。取材に協力していただきました。田中さんは「たくさんの方が犠牲になったこと、そしてその石炭産業があったからこそ、今の嘉麻市があることを忘れないで欲しい。」と力強く訴えられました。



町制40周年記念公園に建てられている慰霊碑

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。TEL 0948 (42) 0751

法人運営

information

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり評議員会を開催しました。

第32回評議員会 《開催日》平成26年5月27日(火)
【議案第60号】平成25年度事業報告及び収支決算について
監査報告

山田ふれあいハウス 休館日のお知らせ

山田ふれあいハウスは、下記の間休館となります。
平成26年8月13日(水)から8月15日(金)

お問い合わせ先 山田ふれあいハウス
住所 嘉麻市上山田502番地6
TEL 0948-52-1847

福祉の まちづくりのために

嘉麻市社会福祉協議会では、市民のみなさんとともに福祉のまちづくりを推進していくため、会員を募集しています。年間を通じて受け付けていますので、ぜひ、ご加入ください。

会員の種別の金額

一般会員

1口 1,000円/年額

法人・団体会員

1口 1,000円/年額

お問い合わせ

社会福祉法人

嘉麻市社会福祉協議会

電話 0948-42-0751

ひさつね会館

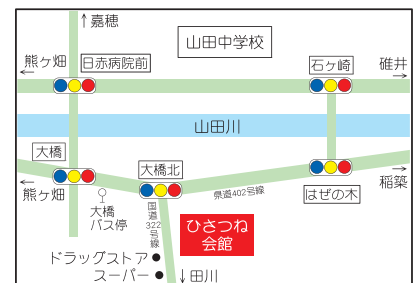
嘉麻市上山田971-4
☎ 52-0758

指定葬祭場紹介



ひさつね会館では、経験豊かなスタッフが誠心誠意真心を込めて、故人の旅立ちのお手伝いをさせていただきます。お客様のご予算に合わせて適切なプランを提供いたします。その他事前相談も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

また只今、初盆・提灯等の展示販売をしております。どうぞお立ち寄りください。



葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、ひさつね会館を含め、市内に8カ所あります。

- | | | | |
|-------------|----------|--------------|-----------------|
| いすや会館 | ☎57-4444 | セレモニーホールおおつか | ☎52-1212 |
| かほ葬祭 あじさい会館 | ☎62-5566 | 善光会館 稲築会場 | ☎83-5000 |
| おかむら葬祭 岡村会館 | ☎42-4420 | 飛鳥会館 南斎場 | ☎(0120) 42-2241 |
| きど葬祭やまさ碓井斎場 | ☎62-4499 | | |

みなさまの善意、
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

5月1日～5月31日受付分

●香典返し

【漆生本村】

親族 野見山 定義 様
故 野見山 ナエ 様
親族 野見山 光 様
故 野見山 恭三 様

【漆生南部】

親族 諫山 清子 様
故 諫山 慎一 様

【鴨生第一】

親族 市川 嘉博 様
故 市川 かつみ 様

【下白井西】

親族 河崎 真由美 様
故 中嶋 ワカ子 様

【西郷】

親族 濱名 ヤヨ子 様
故 濱名 安雄 様

【百々谷】

親族 曾我 和子 様
故 曾我 将平 様

【三菱第一】

親族 辻岡 昭子 様
故 辻岡 正義 様

【中益】

親族 中野 キリヨ 様
故 中野 静江 様

【下益】

親族 田中 ミスエ 様
故 田中 清 様

●十三回忌

【漆生南部】

親族 諫山 清子 様
故 諫山 茂 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様

【物品寄附】

大力 伏貫喜久男 様

【子育てリユース】

漆生本村 匿名 様
新山野 匿名 様
鴨生北町 中嶋亜紀子 様
熊本 中嶋 瞳 様

下白井東 北村めぐみ 様

貞月 縄田 直子 様

飯塚市 小野 聡子 様

飯塚市 木下由佳里 様

田川市 小松 直子 様

【アルミ缶】

漆生本村 匿名 様

漆生本村 松熊 彩香 様

漆生本村 松熊 涼太 様

漆生南部 西田 幸子 様

漆生南部 東 美那子 様

漆生南部 西田 幸子 様

漆生南部 東 美那子 様

漆生南部 西田 幸子 様

漆生南部 東 美那子 様

漆生南部 西田 幸子 様

漆生南部 東 美那子 様

漆生南部 西田 幸子 様

漆生南部 東 美那子 様

漆生南部 西田 幸子 様

漆生南部 東 美那子 様

【リンクフル】

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

あなたの会費が、社協の地域活動を支えています



会員として、次の方々に
ご加入いただきました。
(敬称を省略させていただきます)

5月1日～5月31日受付分

〔漆生本村〕新田ミチ子、西條奈保美

〔山野第二〕宮田信子

〔鴨生町〕武田愛恵

〔飯田〕山元百合子

〔木城〕蔦尾勉、長岡峰雄

〔ゆうひが丘〕梶原賢一、梶原久美子、和田正

〔上町〕小林恭子

〔上西郷〕伊藤千代子

〔下牛隈〕武田百合子、谷麗奈

〔千手〕山本勇太

〔芥田〕溝口邦生、溝口由紀子、溝口まり絵

〔桑野〕江藤千鶴

〔アルミ〕

古河

塚原 京子 様

古河

塚原 京子 様

古河

塚原 京子 様

8月総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。

嘉麻市社会福祉協議会
☎0948-42-0751

法律相談

と き: 8月7日 (木)
13:00～16:00
ところ: 山田ふれあいハウス

と き: 8月21日 (木)
13:00～16:00
ところ: 稲築住民センター

心配ごと相談

と き: 8月13日 (水)
13:00～15:00
ところ: 稲築住民センター

と き: 8月27日 (水)
13:00～15:00
ところ: 稲築住民センター

ふるさとへの手紙 No.101 「らぶ子と山に登りませんか」



福岡市在住
らぶ子
原田 愛子さん
中益出身

拝啓 盛夏の候 嘉麻市の皆様
いかがお過ごしですか？

私、嘉麻市観光文化大使を務めております原田らぶ子と申します。同じく大使のおすぎさん(69歳)と共に、日々嘉麻市のPRに励んでいます。

普段はタレントとしてテレビやラジオに出演したり、司会の仕事をしています。地元の方の皆さんの「いつもテレビ見ているよ!」「ラジオ面白いね!」という言葉が何より嬉しいです。今は福岡市内で暮らしています。最近、嘉麻市のイベントや山登りによく参加させていただいています。

今年の5月11日午年の午の日、馬見山の山開きが行われました。馬見山は今年の元旦、まだ山頂に白い雪が残る中、初日

の出を拝んだ山でもありません。今回は100名を超える参加者の中、最高齢の方はなんと88歳!本当に頭が下がります。五月晴れの日差しの下で急な山道を、たつぷり汗をかきながら登りました。キラキラと輝く新緑、山つつじ、清らかな川のせせらぎ、鳥のさえずりが、背中を押してくれます。

978メートルの頂上から見た景色、連なる山、その眼下に広がる街並み、田園風景はとても美しく一気に登山の疲れが吹き飛びました。

そこで食べたぜんざいの美味しかったこと。ぜんざいは嘉穂三山愛会の皆さんが用意してくださっていて、嘉麻の山を愛する人々が毎年、山での事故がないようにと、山開き神事を行い、山登りの楽しさや厳しさを教えてくださっているのです。

子どものころから親しんできた馬見山。ここから流れ出す清らかな水が、米や野菜、お酒、人々あらゆるものにつながっています。改めて、嘉麻市の素晴らしさを実感した山登りでした。

今回は、8月の古処山に登る予定です。あなたも、一緒に登りませんか?きつと新しい発見がたくさんありますよ!

★ 編集後記 ★



2ページVOICEでは、不登校の方がお互いを尊重しあえる居場所となるように支えている森田さんの声を掲載しています。7月24日の勉強会でも森田さんの話をたくさんの方に聞いていただき、その温かさを感じていただければと思います。
(きはら)



ボランティア募集情報の記事を見て、「活動してみたい」とご連絡をくださった学生の方がいらっやいました。緊張しながらも問い合わせていただいていた嬉しかったです。今号は、夏祭りのボランティア情報を掲載していますので、ぜひ活動されてみてください。
(みぞくち)



炭鉱の記憶では、田中さんに三井山野炭鉱のガス爆発事故の話をお伺いしました。50年が経過した今でも思い出すが辛いと言われる中で、語っていただく一言一言にとても重みがありました。そして、それを聞いて、文章にすることの責任の重さを強く感じました。
(たけがわ)



「今月のえがお」のコーナーに出ただけの方を探していたら、かわいらしい女の子たちが、心よく取材に応じてくれて、たくさんのお顔を振りまいてくれました。楽しそうにおしゃべりをしているところを見ると、私まで楽しい気持ちになりました。
(ながの)



はじめまして。これから広報紙づくりに参加します。かじです。これから嘉麻市のことを私自身どんどん知って、みなさんにお伝えしていきたいと思っています。今号では夏祭りのボランティア情報を載せています。みなさん、ぜひ参加させてください。
(かじ)

編集後記を書いている本会職員の見顔絵も募集しています。絵が得意な方、ぜひ、ご協力をお願いします。

コラム 交差点

今年の3月のことだった。夫の7回目の命日が近づいたある日、「溝口精一様の御家族様へ」と書かれた封書が届いた。驚いて開けてみると、カードにはこんなことが書かれていた。
「10年後の今日、私も妻も子ども達も元気にしているかな?生きていることを信じて、See You(ではなく)me again!」
どうやら10年前夫が結婚式に出席した折に自分宛に書いたものを、式を挙げた当人達が、結婚10周年を迎えた日に送ってくれたようだ。夫は、このメッセージを残して5年後に逝ってしまった。

思いがけない手紙をもとらって、記憶の底にしまっていた夫との思い出が懐かしく蘇ってきた。私達は、小学6年の時、月刊誌を通じて知り合い、文通を始めた。四角ばった文字はあの頃と少しも変わっていない。50年も前のことなのに、はつきりと覚えている。

小さいことにこだわらないスケールの大きい人だった。その大らかさに惹かれて、東京から嫁いできた私だが、振り返ると、何でも物事を自分中心で、いたらない妻だったと悔やんでいる。夫が亡くなって、前へ進めないでいた時、「置かれた場所であらう」という言葉に出会った。
そして目の前の現実を受け入れることができた時、ここの生活はかけがえのないものとなった。
今、私は大地から元気をもらい、大自然と触れ合いながら、野菜作りを楽しんでいる。ここには、祖父や父の思いが息づいている。そして、お金では買うことのできない充実した毎日がある。60歳を過ぎて、やっと全ての事に感謝できるようになった。
夫はその昔、千キロも離れたいた私を選んでくれたけど、生まれ変わってもまた私を見つけ出してくれるだろうか。夫にちゃんと見つかるように、キラリと輝きを放つ私でいたいと願っている。
(芥田 溝口幸子)